



東証スタンダード市場・名証メイン市場

証券コード:9221

フルハシEPO株式会社

2024年3月期

第2四半期決算説明会資料

2023年11月28日

1. 会社概要
2. 第2四半期決算概要
3. 通期業績予想
4. トピックス

1. 会社概要

2. 第2四半期決算概要

3. 通期業績予想

4. トピックス

経営理念

世のため 人のため 地球のため 社員のため
持続可能な社会を創造します

◆ 特定したマテリアリティ

経営理念	マテリアリティ (重要課題)	取組み事項	
経営理念 世のため 人のため 地球のため 社員のため 持続可能な 社会を 創造します	世のため (社会)	 法令遵守の徹底と 公正・公平な経営の 実践	<ul style="list-style-type: none"> ● 「優良産廃処理事業者認定制度」への対応 ● 健全性・効率性及び透明性を高めた経営体制の構築
	人のため (地域住民)	 地域社会の 安心・安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 拠点展開による地域経済への貢献 ● 振動・騒音・粉塵等への対策並びに工場災害・事故の防止による地域住民の生活環境の保全 ● 災害廃棄物の受け入れ等災害時連携の推進 ● 地域清掃活動等による社会奉仕活動の実施
	地球のため (地球環境)	 カーボンニュートラル 社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● 再エネ・CN燃料・EV等導入、及び省エネによる自社のCO₂発生量の削減 ● バイオマス発電(再生可能エネルギー)拡大への貢献
		 資源循環社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル量拡大により社会の廃棄物発生削減に貢献
	社員のため (従業員)	 労災・事故のない 職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働災害の発生防止 ● 安心・安全・快適な職場環境の整備
 誰もが働きやすい 職場づくり		<ul style="list-style-type: none"> ● ダイバーシティ、働き方改革の進展 	

バイオマテリアル事業、資源循環事業、2つの事業を柱に
総合的な環境ソリューションを展開し、サーキュラーエコノミーの実現に貢献

バイオマテリアル事業 71.9%

- 木質廃棄物の再資源化処理
- 木材チップ販売

資源循環事業 17.2%

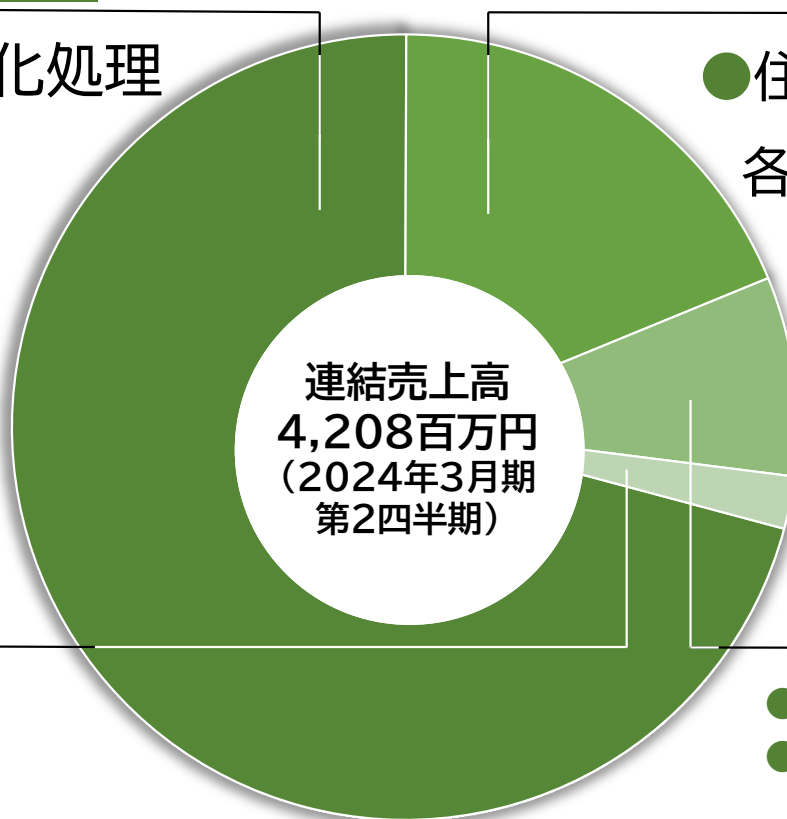
- 住宅建設現場等から排出される各種建設副産物の再資源化処理

その他 2.6%

- 環境コンサルティングサービス
- 施設・交通警備
- 人材派遣・紹介サービス 等

環境物流事業 8.3%

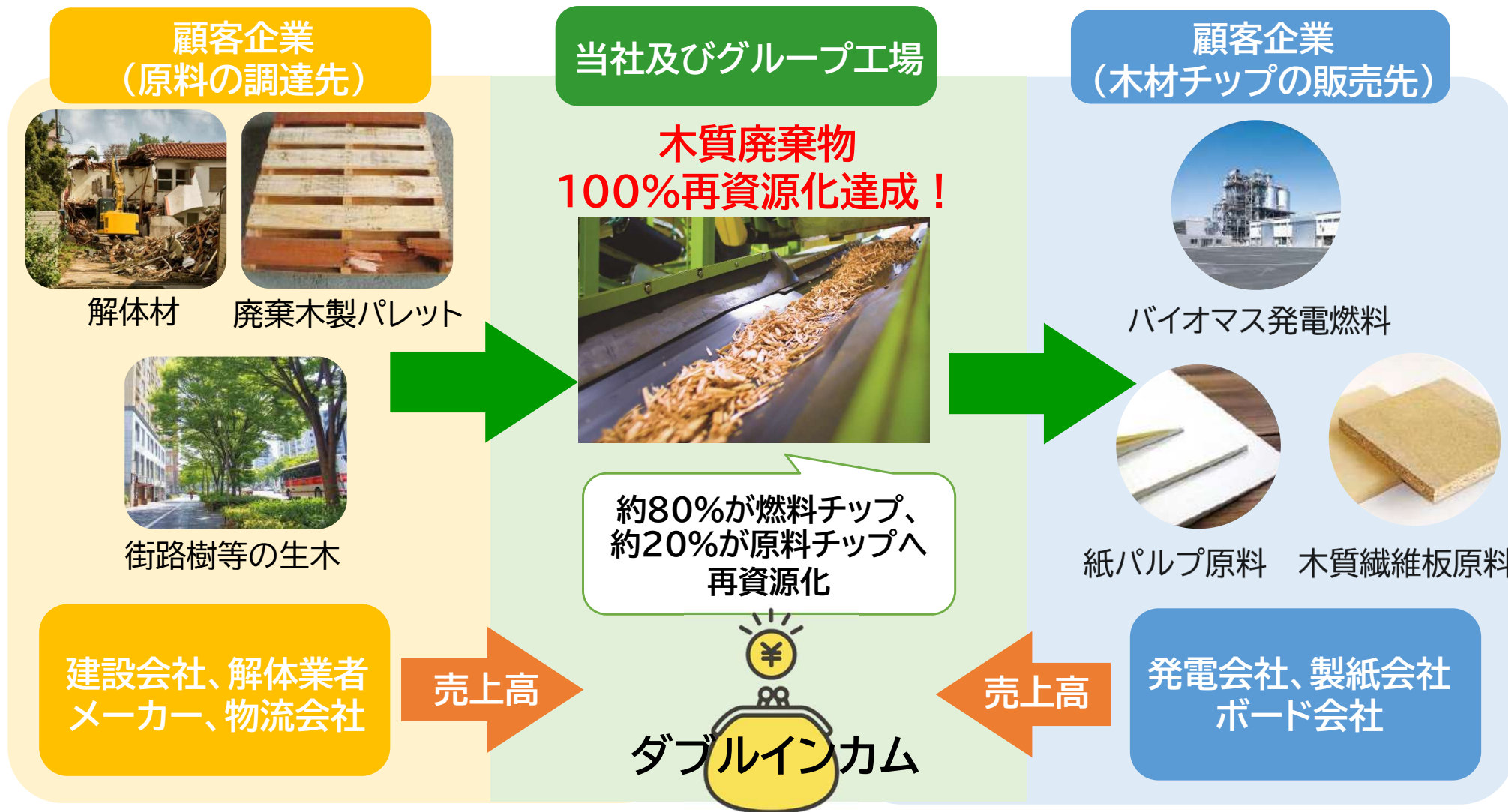
- 木製パレット等の物流機器の製造・仕入・販売
- 中古物流機器の買取・販売



(注)各セグメントの外部顧客への売上高を連結売上高で除して売上高割合を計算しております。

バイオマテリアル事業の概要

廃棄物排出事業者等から木質廃棄物の再資源化を受託し、
当社工場で木材チップに加工・製造し販売



当社が参画するバイオマス発電事業

国内2か所でバイオマス発電事業に積極的に参画し、
年間17万トン超の**燃料チップ**を**安定的に供給**

川崎バイオマス発電所

(2011年2月稼働)

共同出資:住友共同電力(株)、住友林業(株)
(株)ジャパンバイオエナジーより燃料供給

- ・ 発電出力 約33,000kW(発電端)
- ・ CO2排出削減量 年間約12万トン



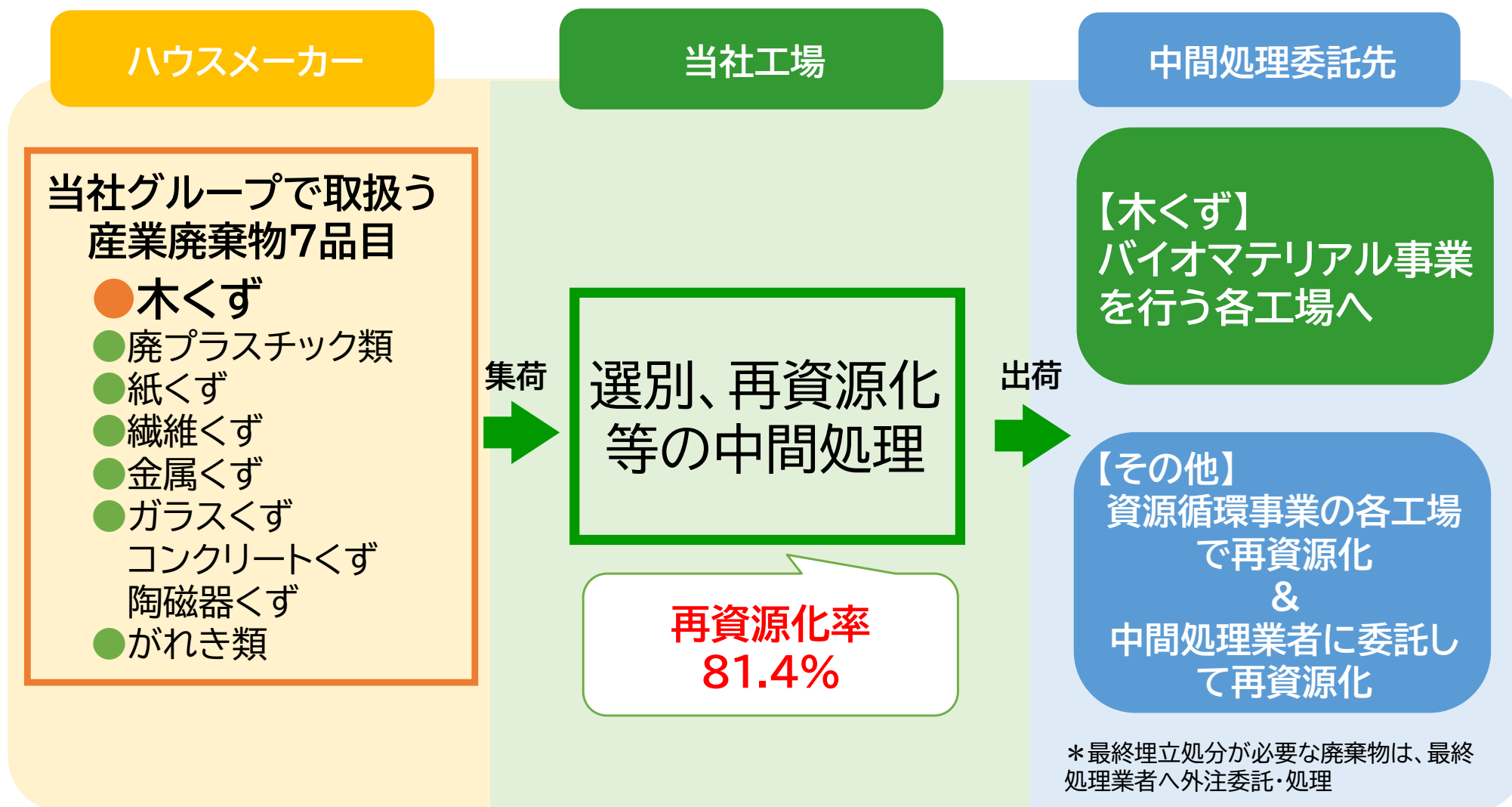
CEPO半田バイオマス発電所

(2019年10月稼働)

共同出資:(株)シーエナジー<中部電力グループ>
当社愛知第七工場(半田)より燃料供給

- ・ 発電出力 約50,000kW(発電端)
- ・ CO2排出削減量 年間約15万トン

住宅建設現場等から排出される各種建設副産物(廃棄物)を
収集運搬し、当社工場で中間処理による再資源化



1. 会社概要

2. 第2四半期決算概要

3. 通期業績予想

4. トピックス



第2四半期決算概要(業績ハイライト)

売上高

4,208百万円

前年同期比：6.5%増

営業利益

491百万円

前年同期比：28.7%増

当期純利益

482百万円

前年同期比：60.8%増

事業環境

- 新型コロナウイルス感染症流行禍から経済は回復傾向にあるものの、引き続き世界的な資源価格の高騰と為替影響により原材料やエネルギーコストが上昇しており、先行きは不透明な状況

主な取組み

- 昨年開設した岐阜第二工場(大垣)、西東京工場(入間)の順調な稼働
当エリアでの新規顧客獲得に注力
- 資源価格の高騰と為替の影響による国内資源への需要増
- SDGsやカーボンニュートラルの実現にむけた研修・コンサルティング業務の拡大

第2四半期決算概要(損益計算書)

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期 実績	2024年3月期 第2四半期			
		実績	昨対比	構成比	予想
売上高	3,950	4,208	+6.5%	100.0%	4,227
売上高総利益	1,740	1,962	+12.7%	46.6%	1,874
営業利益	381	491	+28.7%	11.7%	414
経常利益	420	686	+63.3%	16.3%	592
親会社株主に帰属 する当期純利益	300	482	+60.8%	11.5%	411

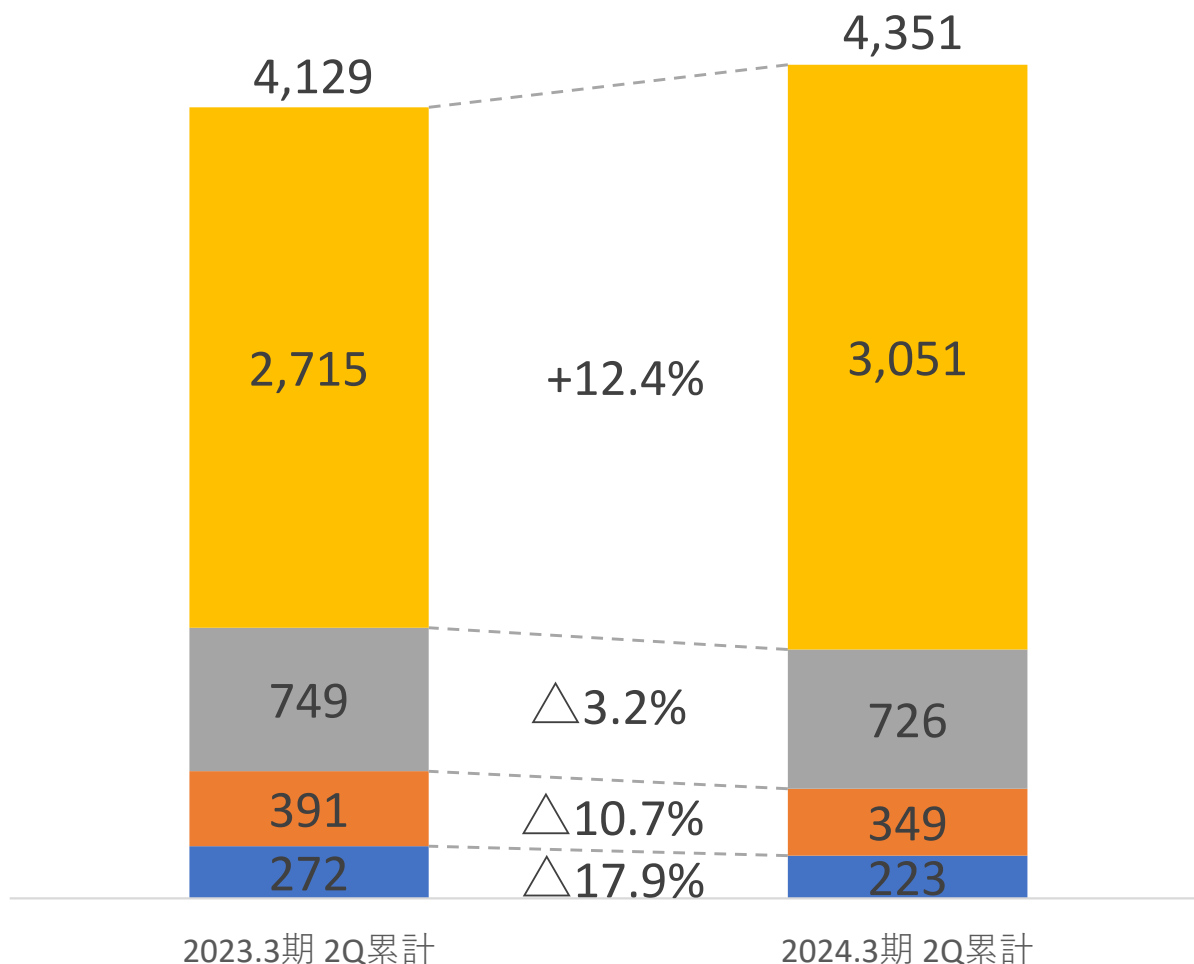
主な要因

●資源循環事業、環境物流事業での売上高減少があったものの、バイオマテリアル事業では、昨年開設した岐阜第二工場(大垣)及び西東京工場(入間)が順調に稼働し売上高を押し上げ

セグメント別売上高(前年同期比)

セグメント別売上高

■ その他事業 ■ 環境物流事業 ■ 資源循環事業 ■ バイオマテリアル事業
(百万円)



セグメント別概況

バイオマテリアル事業

- 岐阜第二工場(大垣)及び西東京工場(入間)が順調に稼働
- 原油高や円安等でPKSの単価が上昇したことにより、当社への木質資源チップ受注増

資源循環事業

- 計画より2か月前倒しとなる柏リサイクルガーデンの稼働等、広範囲に対応した営業体制での受注確保に注力
- 外部環境による全体的な発生量減少による受注影響

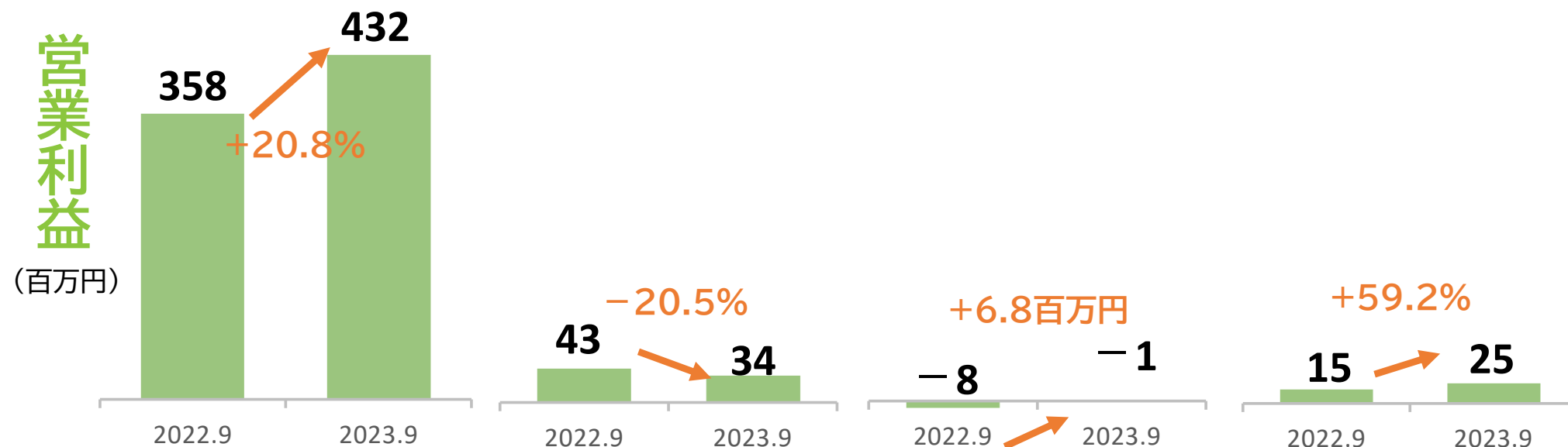
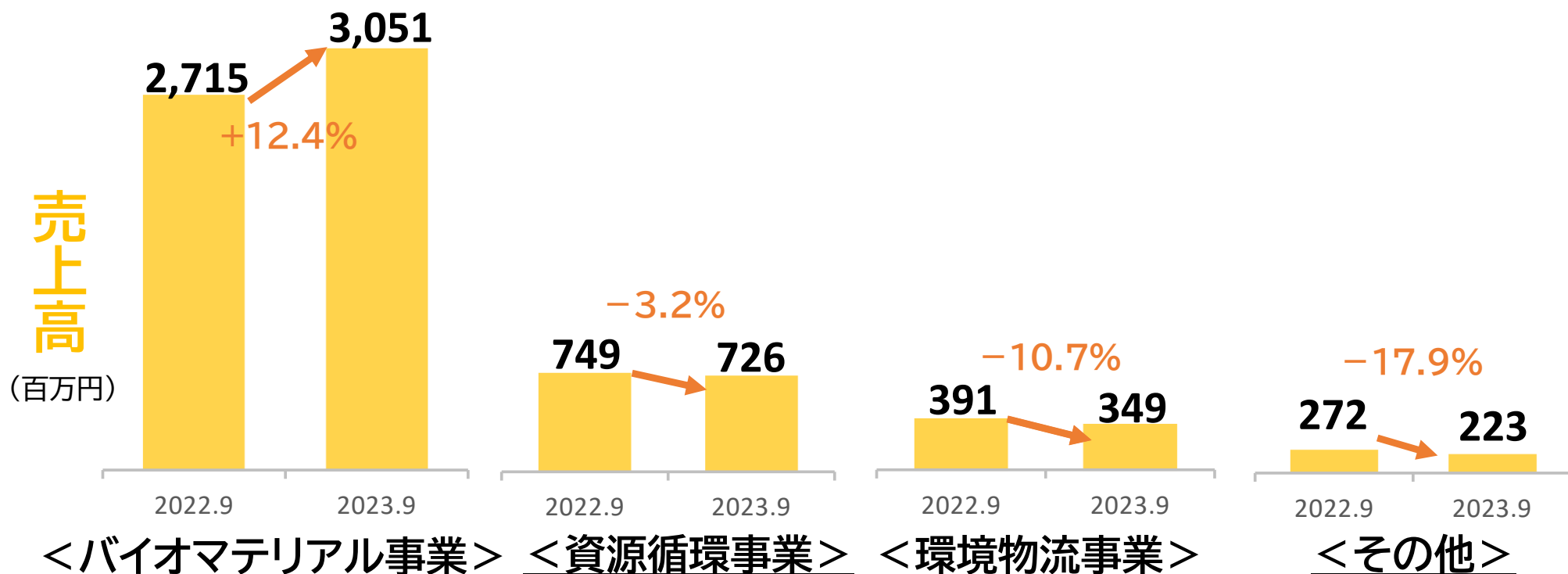
環境物流事業

- 2024年問題対応企業に対する中古リニューアル品販売に注力
- 顧客側の荷動きに低調さの影響により販売数量減少

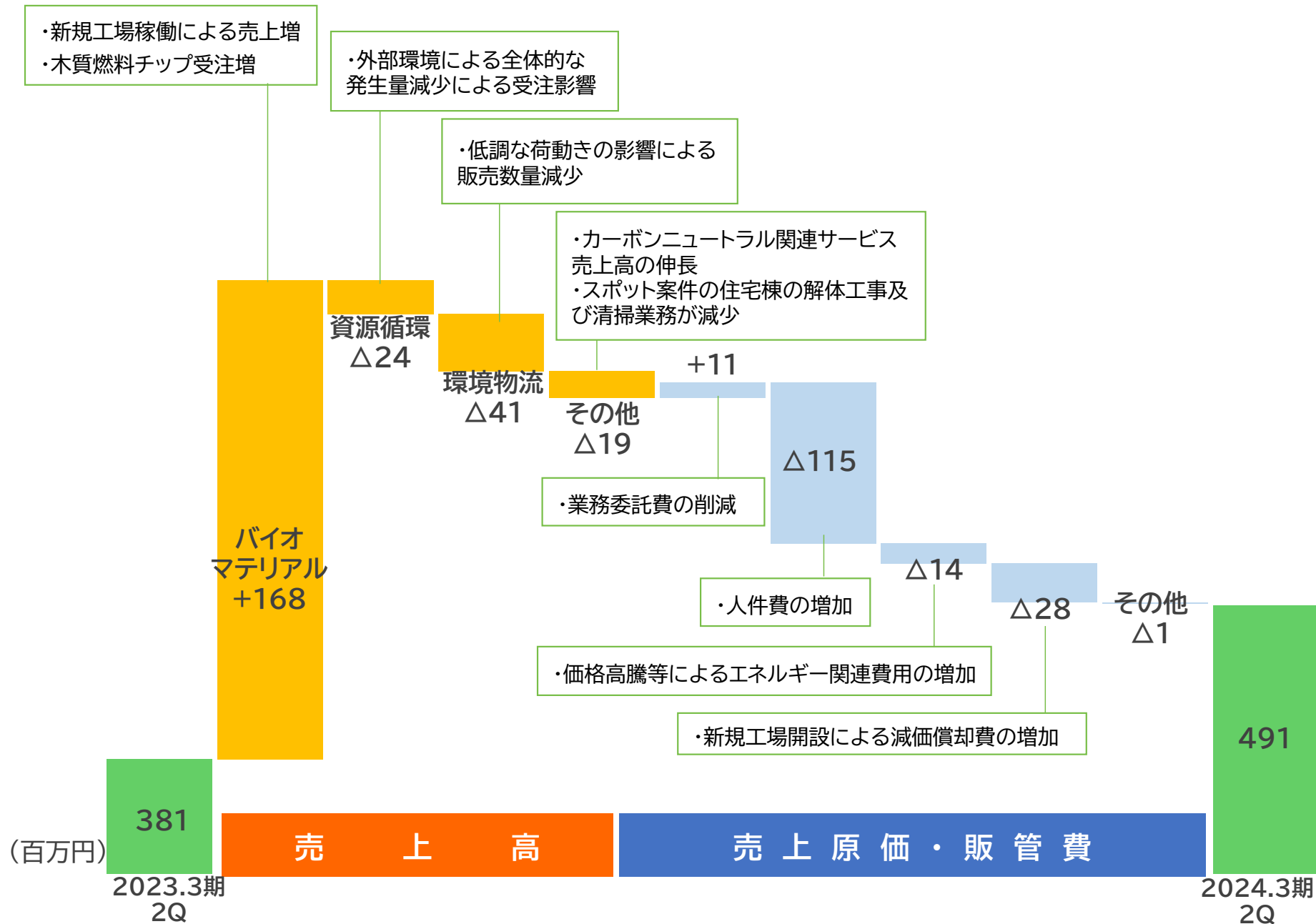
その他

- カーボンニュートラル関連サービス売上の伸長
- スポット案件の住宅棟の解体工事及び清掃業務が減少

セグメント別売上高・利益(前年同期比)



営業利益増減要因分析(前年同期比)



第2四半期決算概要(貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書)

(単位:百万円)

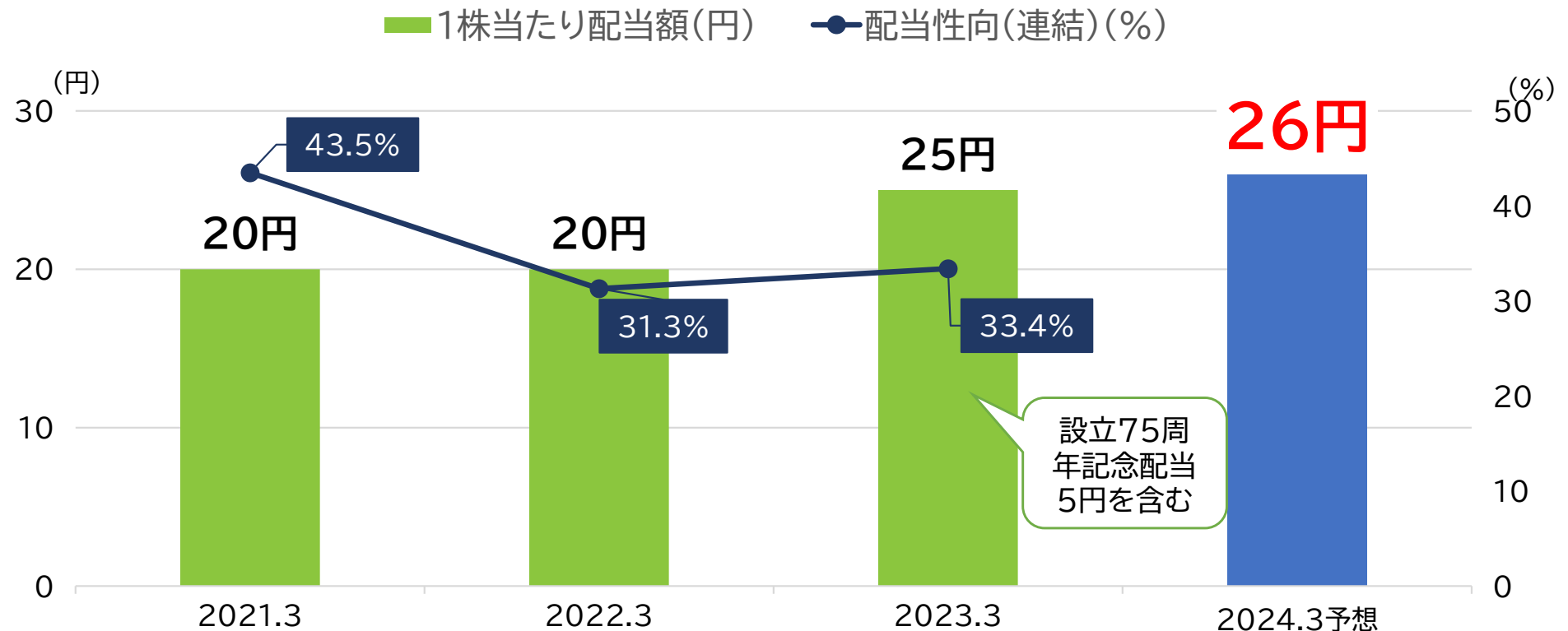
	2023年3月期 期末	2024年3月期 実績	第2四半期	主な要因
			増減額	
流動資産	3,963	4,013	49	現金預金の増加
固定資産	7,347	7,264	△83	保険積立金の一部解約
資産	11,311	11,277	△34	
流動負債	3,109	2,876	△232	短期借入金、リース債務の減少
固定負債	3,149	3,008	△140	長期借入金の減少
純資産	5,052	5,392	339	配当金支払・純利益獲得
負債・純資産合計	11,311	11,277	△34	

(単位:百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 実績	第2四半期	主な要因
	第2四半期		増減額	
営業キャッシュ・フロー	365	981	616	純利益の増加
投資キャッシュ・フロー	△353	△111	242	有形固定資産の取得
財務キャッシュ・フロー	84	△641	△726	長・短借入金の返済
現金及び現金同等物の 増減額	101	225	124	
現金及び現金同等物の 期末残高	609	2,684	2,075	

配当方針

- 安定性・継続性に配慮し、業績動向、財務状況等を総合的に勘案して実施
- 2024年3月期の中間配当及び期末配当
足元の業績の好調な推移及び今後の経営環境の見通し等を踏まえ、中間配当は直近の予想から1株当たり**3円増額**を実施。年間配当予想を**26円**とする。



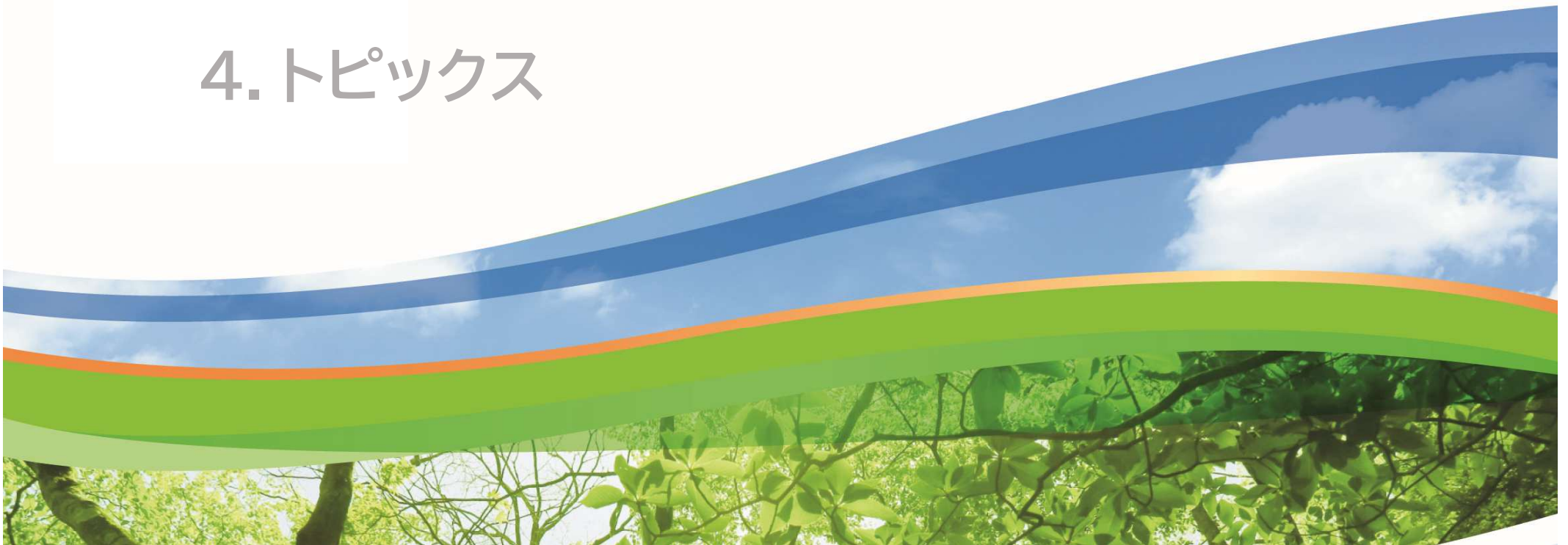
(注)連結配当性向は、有価証券報告書記載の「1株当たり配当額」を連結の「1株当たり当期純利益」にて除して算出しております。
2023年4月1日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。上記の数値は株式分割を適用して算出しております。

1. 会社概要

2. 第2四半期決算概要

3. 通期業績予想

4. トピックス

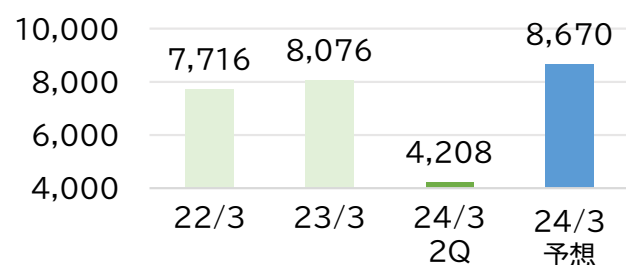


通期業績予想

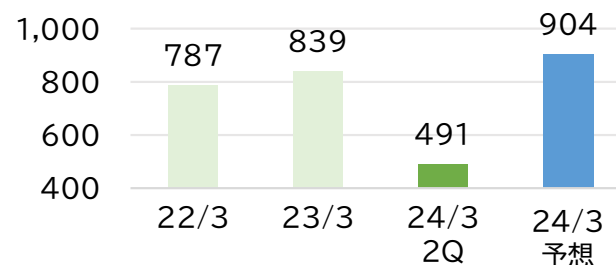
(単位:百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期			2024年3月期 2Q累計	
		業績予想	増減額	増減率	実績	進捗率
売上高	8,076	8,670	594	+7.4%	4,208	48.5%
売上高総利益	3,572	3,866	293	+8.2%	1,962	50.7%
営業利益	839	904	65	+7.8%	491	54.3%
経常利益	1,049	1,090	40	+3.9%	686	63.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	743	756	13	+1.8%	482	63.8%

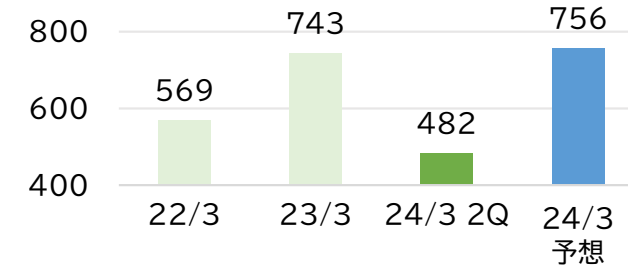
<売上高>



<営業利益>



<当期純利益>



成長戦略1-1 量的拡大〔現拠点〕

人口の多い都市エリアへの拠点展開



許認可工場
全国 20 か所
 (2023年11月現在)

中日本 12か所
 (愛知県7、岐阜県2、
 三重県2、静岡県1)

東日本 6か所
 (千葉県3、神奈川県2、
 埼玉県1)

西日本 2か所
 (広島県1、滋賀県1)

成長戦略1-2 量的拡大 〔国内4例目のSDGsIPOとPO〕

環境面での社会要請に確実に応えながら、
成長分野をさらに拡大することで、持続的な成長を目指す

SDGsIPO 【(株)日本総合研究所からセカンドパーティ・オピニオンを取得】
特に以下の目標への貢献が期待できるとの評価をいただく。

- 目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 目標12 つくる責任 つかう責任
- 目標15 陸の豊かさも守ろう



2023年3月期
IPOとPOによる
資金使途

事業区分	資金使途対象	完了(予定)年月
バイオマテリアル事業 (再生可能エネルギー)	岐阜第二工場	2022年5月完了
	西東京工場	2022年11月完了
	愛知第八工場	2024年10月
	(株)フィニティ 滋賀第二工場	2024年10月
資源循環事業 (汚染防止及び抑制)	柏リサイクルガーデン	2023年8月完了
	湘南リサイクルガーデン	2024年10月
	東三河リサイクルガーデン	2025年4月

成長戦略1-3 量的拡大[今後の展望]

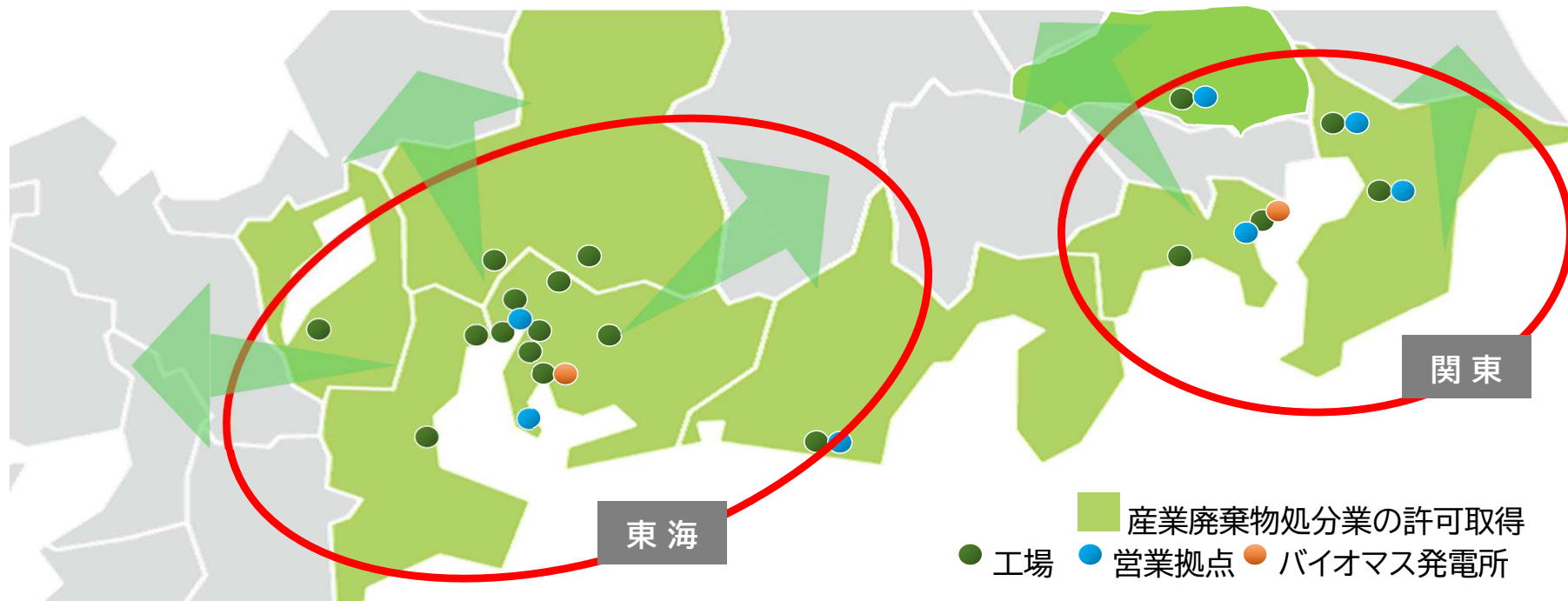
1. 需要地域への包括的な拠点展開

- 木質廃棄物処理拠点の新設及び資源循環事業拠点の併設
(多角的な収益源の確保と分散)

2. 木質バイオマス発電への積極的な参画

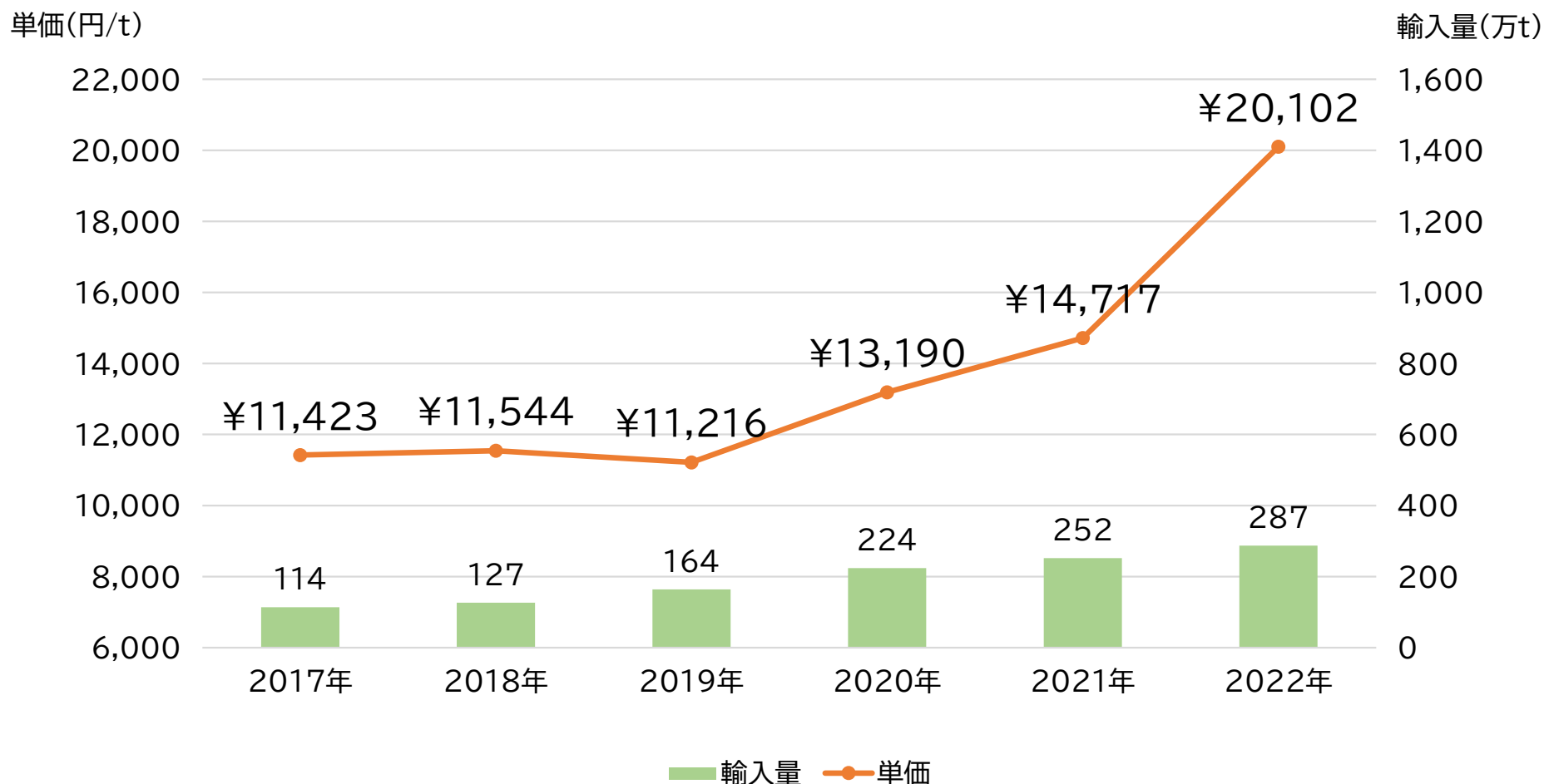
- 木質燃料チップ需要の創造
- 輸送面でのコスト及び環境負荷(CO2)の削減

- 再生可能エネの創出
- 資源循環の促進
- SDGsへの寄与



円安等による輸入燃料(PKS:パームヤシ殻)の価格高騰
⇒国内の木材チップの需要は引き続き増加

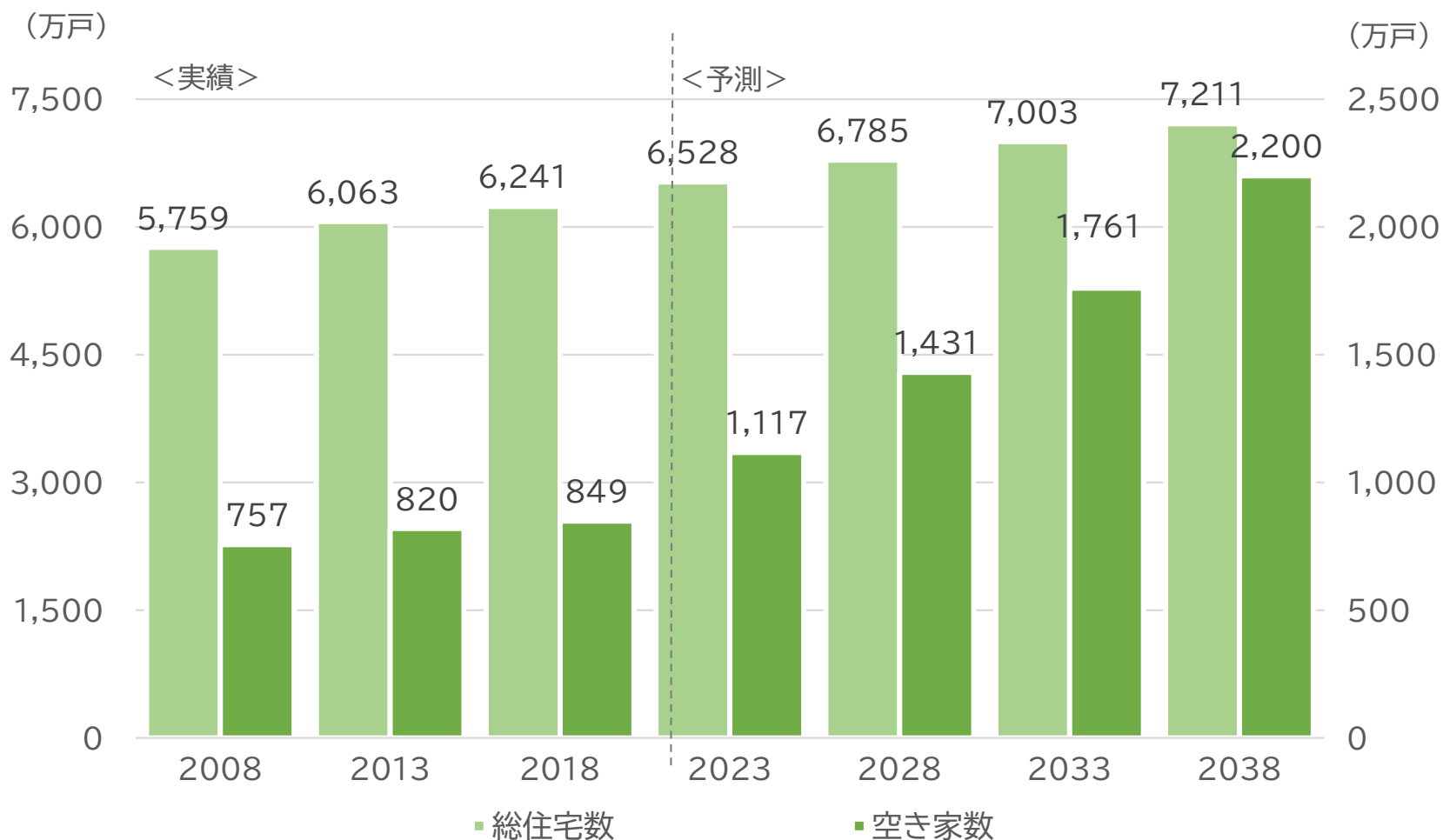
■ 輸入燃料(PKS:パームヤシ殻)の単価・輸入量



出所:財務省「貿易統計」に基づき当社が作成

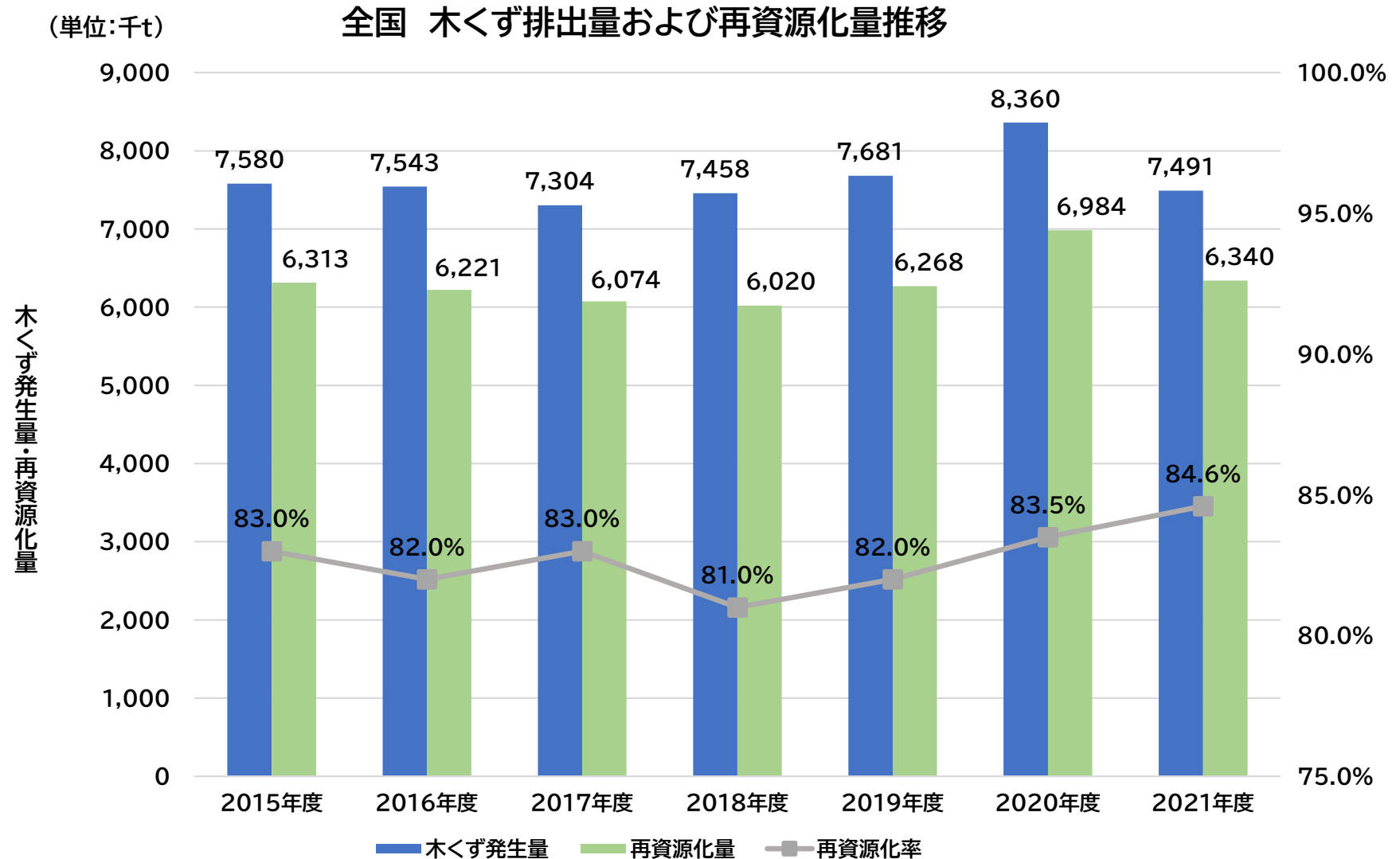
空き家の増加が予想され、解体戸数も一定数を見込む

■ 総住宅数・空き家数の実績と予測



出所:野村総合研究所「2040年の住宅市場と課題(2020年6月9日)」に基づき当社が作成

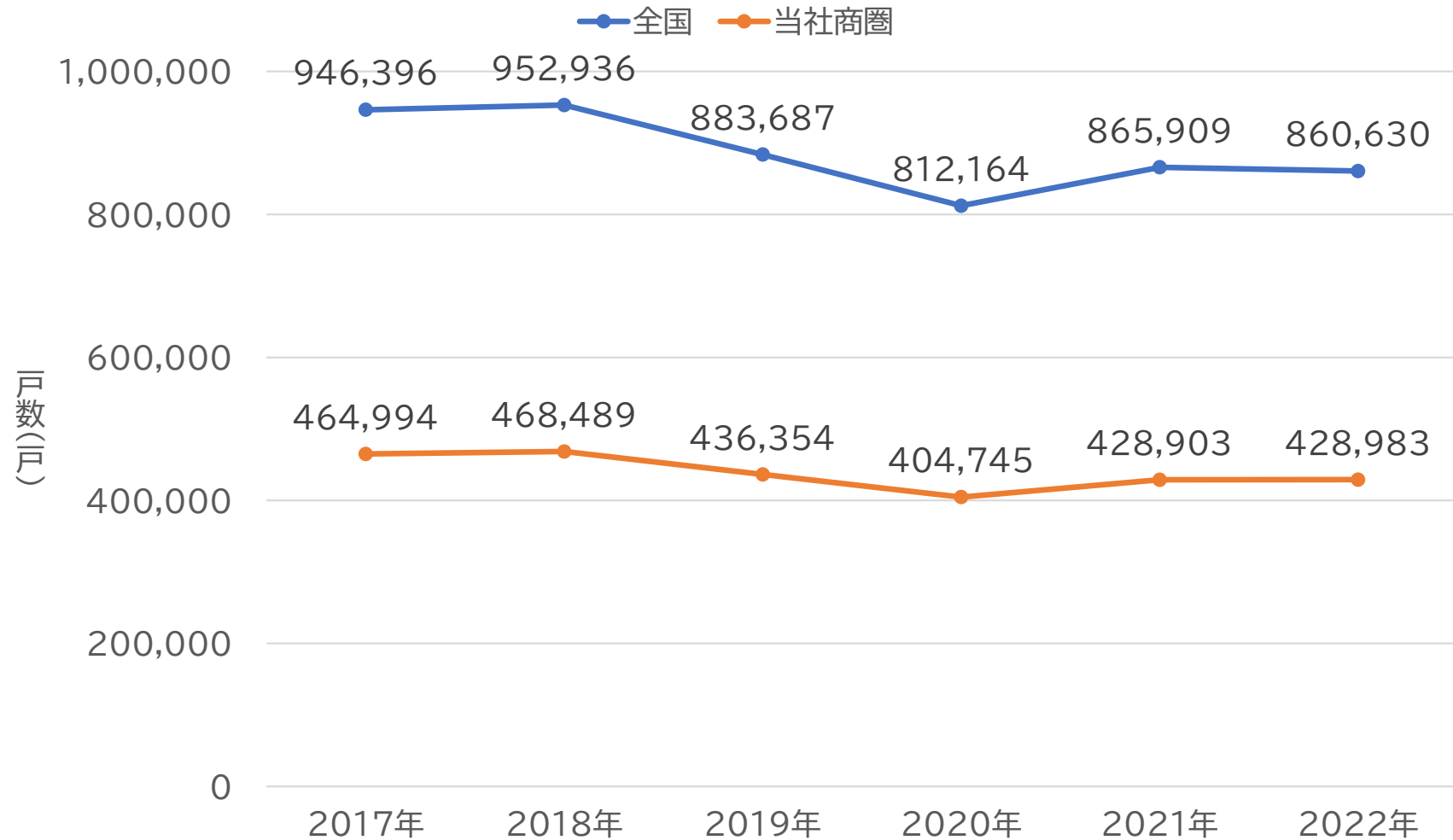
木質廃棄物の安定した発生



出所:環境省「産業廃棄物排出・処理状況調査報告書」に基づき当社が作成

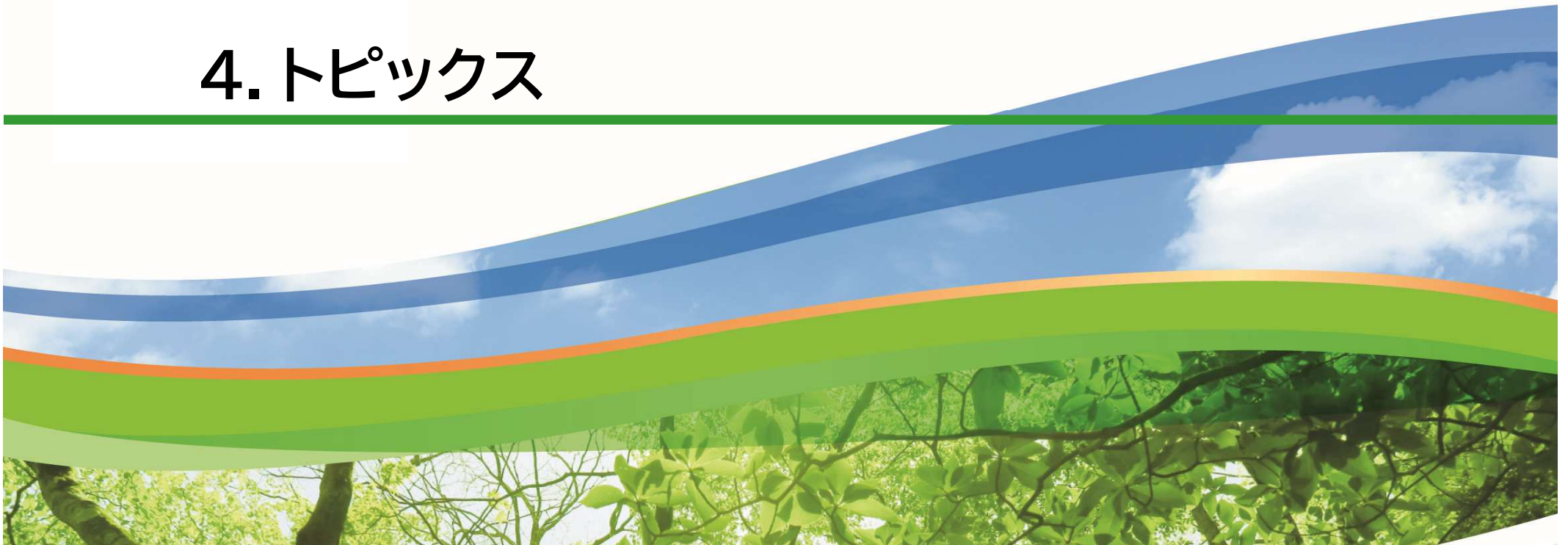
新築住宅着工戸数は安定的に推移

■新築住宅着工戸数(全住宅)



出所:国土交通省「建築着工統計調査 住宅着工統計」に基づき当社が作成

1. 会社概要
2. 第2四半期決算概要
3. 通期業績予想
- 4. トピックス**



・柏リサイクルガーデン

千葉県内2番目の資源循環事業の工場として2023年8月に稼働開始

住所	千葉県柏市大島田二丁目8番4
許可番号	第11120028236号(千葉県柏市)
処理方法 廃棄物の種類	<破碎> 廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、金属くず、ガラスくず・ コンクリートくず及び陶磁器くず、 がれき類 <圧縮> 廃プラスチック類、紙くず



・ロジポート名古屋営業所

東海地区における効率的な営業活動、サービスの向上を図ることを目的とし
2023年11月に業務開始

住所	愛知県名古屋市中村区岩塚町字高道1番地1 ロジポート名古屋3階東オフィスエリアE317
----	--

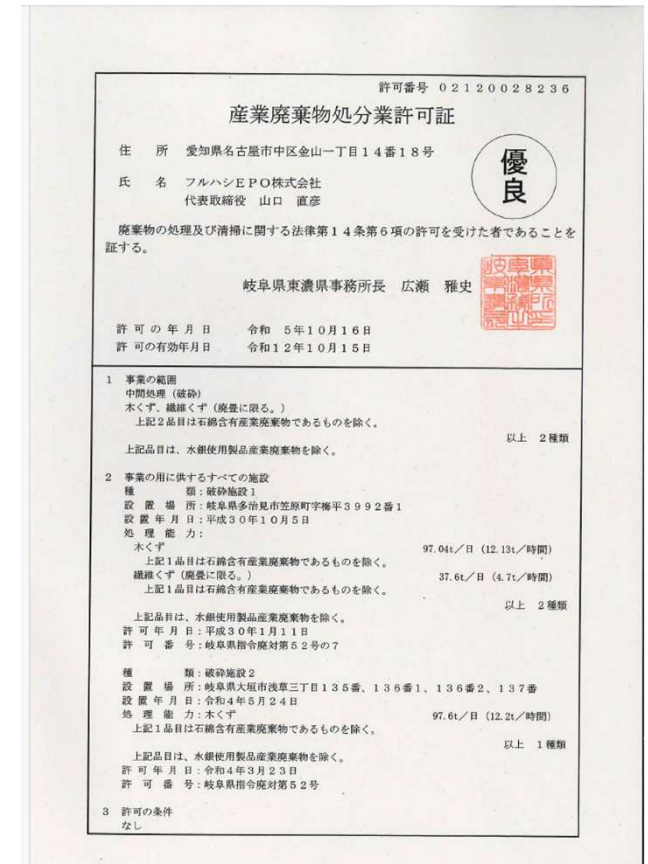
2023年11月 岐阜県の優良認定取得

2018年11月 岐阜県内初の工場「岐阜第一工場(多治見)」を開設
5年の実績経過後に行政の厳正な審査を受け優良認定を取得

当社の優良認定取得市町村

愛知県・豊田市・三重県・静岡県・岐阜県・千葉県・千葉市

■ 遵法性、事業の透明性に加え、財務体質の健全性や環境に配慮した事業活動を行っていることをステークホルダーへアピール。



許可番号 02120028236

産業廃棄物処分業許可証

住 所 愛知県名古屋市中区金山一丁目14番18号

氏 名 フルハシEPO株式会社
代表取締役 山口 直彦

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた者であることを証する。

岐阜県東濃県事務所長 広瀬 雅史

許可の年月日 令和5年10月16日
許可の有効年月日 令和12年10月15日

1 事業の範囲
中間処理(破砕)
木くず、繊維くず(廃棄に限る。)
上記2品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。
以上 2種類
上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を除く。

2 事業の用に供するすべての施設
種 類: 破砕施設1
設 置 場 所: 岐阜県多治見市笠原町字榎平3992番1
設 置 年 月 日: 平成30年10月5日
処 理 能 力:
木くず 97.04t/日 (12.13t/時間)
上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。
繊維くず(廃棄に限る。) 37.6t/日 (4.7t/時間)
上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。
以上 2種類
上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を除く。
許可年月日: 平成30年1月1日
許可番号: 岐阜県指令廃対第52号の7
種 類: 破砕施設2
設 置 場 所: 岐阜県大垣市浅草三丁目135番、136番1、136番2、137番
設 置 年 月 日: 令和4年5月24日
処 理 能 力: 木くず 97.6t/日 (12.2t/時間)
上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。
以上 1種類
上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を除く。
許可年月日: 令和4年3月23日
許可番号: 岐阜県指令廃対第52号

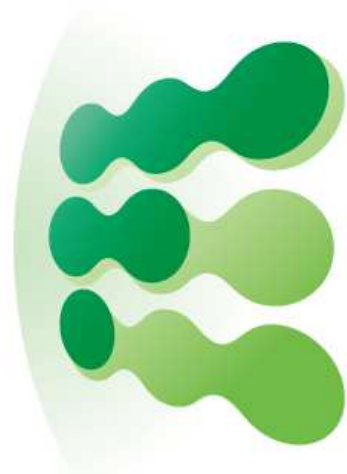
3 許可の条件
なし

①2023年8月 統合報告書
「FULUHASHI EPO REPORT 2023」
を公開

■CSR及びガバナンス方針・体制の報告、財務・非財務情報の開示、各生産拠点のCO2排出量の推移の開示、環境・社会性の報告等、統合報告書として情報開示を強化

②2024年 5月予定
中期経営計画策定・発表





環境で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

本資料の取り扱いについて

■本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。

■本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。

■本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

フルハシEPO株式会社 総務部

TEL:052-324-9088

会社概要



社名	フルハシEPO株式会社（英語名 FULUHASHI EPO CORPORATION）
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場、名古屋証券取引所 メイン市場 証券取引コード:9221
創業	1947年12月
設立	1948年 2月
本社	名古屋市中区金山一丁目14番18号
資本金	1497百万円(2023年9月末)
従業員数	521名(連結:2023年9月末)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● バイオマテリアル事業● 資源循環事業● 環境物流事業
関係会社	<ul style="list-style-type: none">● 連結子会社:5社（国内3社・海外2社）● 持分法適用関連会社:2社(ともに国内)